

札幌市病院事業管理者  
市立札幌病院長・地域連携センター長

## 関 利盛

日頃、市立札幌病院に対して温かいご支援、ご指導をいただきありがとうございます。「かざぐるま」28号発行に際しまして一言ご挨拶を申し上げます。

さて、当院は3年前に地域医療支援病院の指定を受け、現在まで高度急性期医療の提供病院であろうと努力を続けております。連携医療機関の先生方と強固な信頼関係を築くため、Dr to Dr で依頼される緊急患者の受け入れにも力を入れているところです。現在私たちが行っている取り組みを紹介いたします。昨年末には、緊急性の高い患者さんを積極的に受け入れるための臨時入院病床を設けました。当院の救急医療体制は、まず救命救急センターが365日、24時間体制で3次救急を担当しています。また、診療科によっては札幌市医師会の2次救急輪番に参加しており、救急患者搬送は年間2,000件を超えています。当院は32の診療科がある総合病院ですので、搬送される患者さんは重症患者さんが多く様々な診療科が集まって対応しています。

当院での治療が終了して安定した患者さんは、紹介していただいた医療機関へ逆紹介しております。昨年度の紹介患者さんは11,769人(紹介率68.3%)、逆紹介患者さんは15,421人(逆紹介率89.5%)であり年々紹介率、逆紹介率ともに上昇しております。これも地域の先生方から信頼されてご紹介いただいているものと感謝しております。また、逆紹介の際は当院での診療データを添付して、出来るだけQualityの高い診療情報提供書を作成するように職員一同努力しています。また、このデータ添付に際して市立札幌病院地域医療情報ネットワークシステム「すずらんネット」を今年から稼働させました。



現在まで約20施設に加盟していただき、当院での採血データや画像データを共有しております。今後は地域連携パスなどに適応を拡大し、今年度中にさらに加盟施設を増やしていきたいと考えています。

当院は地域がん診療連携拠点病院に指定されているため、がん診療に関係する治療にも力を入れております。ロボット支援手術や高精度放射線治療システムなども揃え、今年の4月から最先端のPET-CTも完備しました。がん診断、そしてがん治療が十分行える環境が整っていると考えています。加えて精神医療センターも完備しており、身体合併症を有する精神疾患患者さんも積極的に受け入れて治療しているところです。

以上のような取り組みを行い、当院は今後も地域医療支援病院として他の医療機関の皆様への御期待に応えるべく、高度急性期医療を提供し逆紹介などの連携強化によって地域完結型医療の実現を目指したいと考えています。今後とも変わらぬご支援、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。